

令和4年度 新潟地域若者サポートステーションの現状に関して（報告・計画）

1. 今年度の実績（2022/4/1 - 2023/2/28）

新規登録者数	274名	【58】
就職者数（再就職含む）	156名	【30】
リファー者数	11名	
就職後定着率	83.3%	

※【 】は就職氷河期世代人数

2. 支援の状況（2022/4/1 - 2023/2/28 までの登録者の中で）

今年度は支援対象が49歳に拡大されて4年目となった。就職氷河期世代登録者昨年度と比較して同程度となり、落ち着いてきている。また就労決定数は減少しており、長期利用する対象者も増加している。

所轄する地域の範囲が新潟市全域ということもあり、登録人数は全国的にもかなり多く、就労決定者数も過去2年間全国で最も多かった。今年度の実績はそれを超える見込みとなっている。

就職氷河期世代支援加速化交付金を受託して3年目となり、アウトリーチ支援や臨床心理の相談支援のニーズは年々増加している。また、ハローワークと連携した企業説明会「やさしいお仕事説明会」も今年度は参加者が149名とかなり大規模なものとなった。うち11名が参加企業に就職できた。

半年程度で就職が決定する方が大半ではある一方、昨年度に引き続き、若年者・就職氷河期世代ともに、長期ひきこもり経験者、統合失調症等の精神疾患を持つ方、発達障がいグレーゾーンと思われる方に加えて、身体的な病気や生活困窮、家族の問題により働けない方など、複合的な課題を抱える方が来所している。

3. 今年度の取組

- ・就職氷河期世代支援加速化交付金を利用した支援

引き続き「アウトリーチ支援の強化」「臨床心理士の増員」「スーツレンタル」「就職相談会の実施」の4つの事業を行った。

- ・サポステ説明会

新潟市5か所において、サポステ説明会を実施。延べ37人が参加し、16人が登録となった。

- ・親セミナー実施の効果

新潟市ひきこもり相談支援センター、中央区・東区・西区社会福祉協議会と共催で、東区では32名、西区では16名の参加があり、講演会形式で実施したことで気軽に参加でき、参加者数が昨年度より非常に増加した。

4. 連携の状況

新潟若者自立応援ネット内で、JOIN、オール、ひきこもり相談支援センターとは日常的に連携している。今年度、JOINからは2名、オールからは7名、ひきこもり支援センターからは7名の紹介を受けた。

5. 周知広報について

サポステ Twitter はジョブトレーニングの様子などを発信しており、フォロワー数も増加（895 フォロワー）している。さらに様々な方に情報を届けるため、Youtube 広告で県内サポステの紹介動画を流した。周知広報の結果として、企業側から連絡が10件ほどあった。

次年度に向けた新たな計画や取組

就職氷河期世代向けのセミナー等の実施

利用者向けのアンケートを行い、とくに特に氷河期世代の利用者から、「利用者同士の関わりあい」「同年代と話したい」等のニーズがあるため、就職氷河期世代支援加速化交付金に新たな事業を追加し、利用者同士が意見交換できる場の創出や、氷河期世代向けのセミナーを行う。